

箕島小 だより



第18号

有田市立箕島小学校
平成29年3月24日



*** みなさん 進級おめでとう ! ***

箕島小学校校長 垣内 淳

3月17日、平成28年度の卒業式をおこない、42名の6年生が巣立っていきました。在校生達も感謝の気持ちを持って、厳粛な中にも迫力ある歌や、心暖まる贈る言葉で卒業生を送りました。とても立派な態度でした。来賓の皆様方からも箕島小学校の卒業式は年々素晴らしく感動的なものになってますねというお褒めの言葉をいただきました。

さて、平成28年度も今日が最終日となりました。子どもたちもそれぞれの学年の勉強をやり終え、心も体も大きく成長しました。来たる4月にはそれぞれ1学年ずつ進級し、5年生は最上級生になります。箕島小学校の顔として下級生を引っ張っていく学年です。最上級生としての自覚をもち、頑張ってください、よろしくお祈いします。

1年生は2年生となって新しい新入生を迎えます。頼もしいお兄さんお姉さんになって、新入生に優しくしてあげてくださいね。

最後に私事で申し訳ございませんが保護者の皆様、地域の皆様にご挨拶を申し上げます。8年間お世話になりましたが今年度末をもって定年退職となります。この間本当に色々ご理解ご協力を賜りましたこと心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

来年度以降も新しい校長共々、箕島小学校をどうぞよろしくお祈い申し上げます。

～卒業式を終えて～



たくさんの方々に見守られながら、42名の卒業生が本校を巣立って行きました。緊張した面持ちで、卒業証書を校長先生から授与される卒業生。その晴れやかな姿を見ると、うれしかったこと、頑張ったこと、苦勞したこと等、これまで歩んできた6年間の重みを感じます。

卒業式が終わり、子ども達が毎日通った桜並樹道で、在校生とともに花道をつくり、卒業生を送り出しました。卒業をお祝いする気持ちや感謝の気持ち、寂しい気持ちで胸がいっぱいになりました。



42名の子ども達、希望を胸に・・・卒業おめでとう！

♪絆♪

山崎 朋子

桜咲くあの日
希望と夢にあふれていた
大切な仲間 この場所であぐり合えた
僕らの出会いはこの広い世界で
ささいな出来事だけど
今も忘れない 君と過ごした日々
輝いていた毎日

※君と僕の大切な絆
いつまでも切れないように
ずっとずっと守り抜こう
心の中でつぶやく

帰り道 君と夕日の中で話したよね
時が過ぎ 遠く離れても忘れないよ
青空の下で 未来を追いかけて
共に汗を流した日

苦しい時にも 友達という風
僕を支えてくれた
君と僕の思い出は
かけがえのない宝物になる
分かち合った強い思い

※の繰り返し
消えることはない いつまでも
消えることはない いつまでも・・・

(卒業生の思い出の曲・歌詞)



卒業生の皆さんが、在校生の皆さんに贈ってくれた言葉・・・

- 1年生に・・・「お兄さん・お姉さんとして出来る事は何か考えていってください」
- 2年生に・・・「自分のことだけでなくみんなのことも考えられる中学年になってください」
- 3年生に・・・「他の学年の友だちとも助け合い・学び合いながら成長し続けてください」
- 4年生に・・・「人の話をしっかり聞く、自分から進んで行動する。
信頼される高学年になってください」
- 5年生に・・・「〈最高を背負っているのだ〉ということ意識して、自覚と責任をもって、頑張ってください」

春休みの生活

進級の喜びに満ちた楽しい春休みが始まります。新学期に向かって心の準備をする大切な時期です。健康な心と体で元気に新学期を迎えることができるよう、家庭で楽しく有意義な生活を送ってほしいと願っています。別紙でお渡しします「春休みの生活について」をご覧ください。ご協力お願いいたします。

4・5月の主な行事予定

* 4月になりまして追加及び変更もありますので、ご了解願います。

4月10日(月) 始業式 (給食があります)

11日(火) 入学式 (給食があります)

21日(金) 授業参観・総会・懇談会

5月 2日(火) 遠足

5月 8日(月)～11日(木) 家庭訪問

修学旅行 5月16日(火)・17日(水) 自然教室 5月23日(火)・24日(水)



後記

学校便りも最終号になりました。学校の教育活動の全てをお伝えすることはできませんでしたが、「今学校で何が行われ、何を大切にしているのか」をお伝えしたいと発行してまいりました。一年間のご協力に感謝を申し上げますとともに、今後のご支援をお願いして、筆をおきます。ありがとうございました。

平成28年度 箕島小学校 学校評価について

学校評価とは、学校の教育活動等の取組や成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すものです。また、学校が説明責任を果たし、家庭や地域との連携協力を進めていくことも必要とされています。平成28年度の学校評価についてお知らせします。



本年度の重点目標

1. 生活習慣の確立 2. 基礎学力の充実 3. 学習指導 4. 学校安全 5. 連携・協力

～～上記の重点目標に向けての取組、結果より抜粋で紹介します。～～

1. 生活習慣の確立について

H 28 年度	4 月	6 月	9 月	11 月	1 月	3 月
早寝早起き	87 %	87 %	82 %	89 %	81 %	89%
朝ご飯を食べる	99 %	99 %	98 %	98 %	97 %	98%
朝、排便のために座る	86 %	89 %	83 %	86 %	86 %	89%
自分から挨拶	91 %	90 %	87 %	92 %	90 %	93%
宿題	96 %	95 %	95 %	96 %	95 %	96%
忘れ物	88 %	84 %	73 %	80 %	81 %	85%
椅子の姿勢	79 %	78 %	76 %	77 %	82 %	82%
次の時間の準備	92 %	92 %	92 %	90 %	91 %	91%
チャイム行動	94 %	97 %	96 %	94 %	97 %	97%
廊下を歩く	74 %	81 %	77 %	77 %	79 %	86%

〔H 28 年度生活振り返りシート結果〕

左記の10項目について、生活の振り返りを行ってきました。今年度は特に「自分からあいさつができる児童」「時間を守ることができる児童」の育成に焦点を当てて指導してきました。



児童個人の判断で%が表れるので、この数字が全てではありませんが、どの項目においても児童が自分の生活を振り返り、意識化できたという点では効果的でした。早寝早起き・朝ご飯など家庭生活においてもご協力していただくことも多いですが、よろしくをお願いします。

2. 基礎学力の充実

各学年における四則計算や漢字の読み書きの力の充実・向上を目指して、前年度の定着率から今年度の目標定着率を設定し、四則計算と漢字の確認テストを毎月実施しました。

〔定着テスト結果 H29.1〕

学年	得点	
	漢字	計算
1	95 点	98 点
2	93 点	96 点
3	86 点	90 点
4	81 点	84 点
5	85 点	94 点
6	89 点	95 点
学校平均	88.2 点	92.8 点
評価指標	85 %以上	85 %以上

目標を設定したことで到達点が明確になり、目標達成に向けて計画を立てて取り組むことができました。

定着率の低い児童に対し、そのつまずきに応じた具体的な手立てを確認し、補習や個に応じた宿題の工夫など個々の児童に合ったサイクルで取組を進めてきました。

定期的な確認テストを実施したことで児童の漢字や計算の定着率が安定し、児童の自信にもつながりました。



3. 学習指導

教科の授業において、より深く考え、話し合い、学び合い、子どもたち同士の「よりよい人間関係」を育み、学力向上を目指してきました。

- 児童同士が進んで学び合う授業を実施する。
- 本時のねらいの提示と、振り返りを徹底する
- ICTを効果的に活用した授業を実施する。



具体的な取組としては、

(1) 「学び合い」の授業づくりとして・・・

「箕小授業スタイルの設定」、「話し方」「聞き方」を設定し、全校的に統一しての取り組みを進めてきました。

「話し合い（グループ学習）の手引き」を活用し、効果的な学習形態等についても研究してきました。

(2) 考えを深め合う工夫として・・・

ICTの効果的な活用や本年度導入したホワイトボードも学び合いの新たなツールとして活用を進めてきました。



児童アンケートでは、「友達の意見を最後までしっかりと聞けましたか」「友達の意見を聞いて自分の考えをもつことができましたか」は、90%以上が《できた・よくできた》と回答していますが、「自分の考えを進んで発表できましたか」「友達に自分の考えを伝えられましたか」については、学年が上がるにつれて弱さが見られます。

「ICTを活用した授業」「学び合いの授業」は《好き・分かりやすい》が、ほぼ100%。

来年度も児童の主体的・協働的な学びがさらに展開されるように学び合いの質の向上、ICTの活用、指導方法の工夫改善等取り組んでいきたいと考えています。

4. 学校安全

- 学校内外での災害発生時の対応能力を育てる。
- 安全に対する児童の意識向上を図る。
- 校内の安全点検を定期的に行い、教室環境の整備充実を図る。

様々な状況を想定して、避難訓練を行ってきた中で、子どもの達は落ち着いて行動できるようになり、「自分の命は自分で守る」という意識も育ってきています。6年生の「防災学習」への取組、下学年への発表は児童の防災に対する意識向上に成果をあげることができました。

今後の課題としては、特に低学年児童の通学時の交通安全についてさらに指導を充実させていくことが必要だと考えています。

5. 連携・協力

- 保幼小の連携・小中の連携を図る。
- 地域との連携を図る。

保幼小の連携に係る協議会をもち、年長児と低学年児童の交流行事を実施しました。子ども同士の交流の中でそれぞれの発達段階に応じた思いやりの気持ちが育まれ、保育所からも、この経験がその後の子どもたちの生活に大きな影響を与えたということもあり、一定の成果をあげることができました。

学校便りの発行など学校教育に関心を持ってもらう機会を増やす、共育ミニ集会を開催するなど来年度もさらに地域との連携を推進していくことが必要だと考えています。



学校関係者評価委員会から・・・

すべての教育活動において、職員全員の共通理解・取組の重点化・目標設定・きめ細かい取組・総括・改善に向けてというPDCAサイクルの取組が継続的に行われていて、そのことが大きな成果となっていると評価をいただきました。また、職員全員の共通理解のもとで組織的に学校教育が運営されていて、落ち着いた雰囲気のある学校をつくりあげているとの評価もいただきました。

学校関係者評価を受けての改善方策などの見直し等

自己評価（本校職員の評価）と学校関係者評価（8名の学校職員以外の方の評価）の間には大きな差異はありませんでした。今後とも、地域・保護者の方々のご協力を得ながら、学校教育の土台となる児童のよりよい生活習慣や基礎学力の充実のために継続的に取り組むとともに、児童の主体的・協働的な学びが展開される箕島小学校を目指していきたいと考えています。